

谷藤利子

日本共産党の谷藤利子です。通告に従いまして、大項目ごとに一問一答で、一般質問を致します。

○保育園保育料について（大項目）

30分

（1）保育料改定について

保育料は国の徴収基準を参考に自治体ごとに政策判断で決定していますが、市川市としてはこのところ保育料値上げが続いています。そこで、今回の改定を含めて、最近の値上げの内容、保護者負担がどれだけ増えたのか、また、今回改定しようとする D17 階層は今回の引き上げでは近隣と比べてどうなるのか。（資料もらう）

また、審議会の答申案には見直しに慎重な意見も寄せられています。この点について市はどう考えているのか。簡潔にお聞かせください。

（2）第3子以降の無料化存続について

先順位の質問への答弁では、市独自の制度見直し理由について、制度を利用していない方との不公平感の是正や待機者が増えることになるから。今後一年周知期間をとり、新たな子育て支援の制度設計をつくるということです。これでは継続することにはなりません。

市の独自の制度があるから、市川市に引っ越して子どもを産もうという方が増えるということは喜ばしいことではないでしょうか。なぜ、これが問題だというのでしょうか。また、これは、1年間の延期期間は市独自の制度を継続する方向での検討は対象に入っていないようです。議会の意思として示されたことを踏まえているとは思えませんがいかがでしょうか。

《再質問》

（1）保育料改定について

答弁予測

平成11年～15年まで5年間で国基準の80%まで引き上げた。平成21年度にも見直しをした。今度は23年度の見直しになる。財政削減効果は……。23年度の見直しは、平成21年度の国の行政刷新会議で保育料徴収基準の見直しが図られたので、22年度に諮問した。

今後、子ども手当財源としての年少扶養控除廃止の影響なども考え、また、度重なる見直しがすすめられてきたことから、市への信頼性確保の観点からも、今回は、全体的な見直しは避けて、高所得者層の第8階層だけ加えた。

保育料改定は、条例ではないので議会で議論することはありませんし、議員に意見を聞く場もありません。予算書にも反映されていないということです。これはおかしいのではないのでしょうか。条例にして、議会で議論する場をつくるべきではないのでしょうか。

現在のD8階層について、近隣市との比較、3歳未満児は松戸、浦安について3番目、3歳児、4歳以上児では一番高い。平均保育料でいえば、松戸市について2番目、最高額では市川市が一番高い。これは中間層ですが、もともと所得層の高い17階層世帯は保育料が一番高い。今回の見直しでさらに市川の保育料は高いという実感が強くなります。

市川市民は、東京や浦安と比較します。市川市は負担が重いから江戸川区や浦安市に引

っ越すという話はめずらしくありません。それは残念なことだとは思いませんか。

(2) 第3子無料化について

移行しようとする国基準の対象者は23年度見込みで約35?人、市独自の対象者は787人、ほとんどの対象者が外れるということです。市川市独自の制度があるから第3子の保育園入園希望が増えて困るというような理由はもってのほかです。これがあるから市川市に引越してきた、市川市で子育てしようと思ったという声をもっと増やしていくべきではないでしょうか。

三回目

市独自の第3子無料化の廃止、見直し、周知期間が足りなかった、新たな制度設計をすると言いますが、あくまでも廃止ありきということ、当事者にとっては市の優れた独自施策への信頼を裏切られたということです。議会での採択を重く受け止めて、市川市に移り住んできてくださいと自信を持ってアピールする独自施策の一つとして存続するという選択肢は全く考えていないのでしょうか。市長お聞かせください。

○行徳地域の歩行者の安全対策について (大項目) 20分

(1) 行徳駅前バス通りと県道市川浦安線の交差点の安全対策について

この交差点は行徳駅から北側に数分のところにあり、行徳の中心部、路線バスも通過するメイン道路です。交通量も歩行者も多くすでに2人の命が奪われています。車対策としては時差式の右折信号機も設置されることになるということですが、交差点の西側部分、歩道橋がある側に横断報道や歩行者用信号機がつけられないか、との要望が地域住民から多数寄せられています。車いすや乳母車、高齢者や障害者にとっては、まさにバリアフリーの歩道としてエレベーター設置なども含めて検討できないかということです。県との協議はしているのか、お聞かせください。

(2) 新井自治会館横の3差路に手押し式信号機や横断歩道ができないか、また、新井寺(しんせい寺)からバス路線に出たところにカーブミラーについてはつけられないかについて

ほぼ同じ場所ですが、カーブしていて見通しが悪く、歩道がごくわずかで歩行者にとっても大変危険なところ。以上のような要望が地元住民から寄せられていますが、必要性和可能性について、お聞かせください。

再質問

(1) 駅前交差点のバリアフリー化は、歩道橋がネックになっていると思います。スクランブル交差点のように歩道橋がなくても歩行者の安全が万全に確保されるようにすることができれば一番いいわけです。それは可能か、あるいは他にバリアフリー化が可能な方法もあるのではと思います。あきらめずに、県と協議していただきたいと思いますが、どうでしょうか。

(2) 新井バス通りは、狭い旧道で難しいことはわかります。車を運転するほうも大変気を使います。高齢者も多い地域ですので、ぜひ歩行者の安全対策について何らかの検討をして

ください。

要望

(1) 駅前交差点のバリアフリー化については少々時間はかかっても、あきらめずに県と協議をしてください。よろしくお願いします。

○行徳駅前公園研修室の改修と今後について（大項目）

10分

この研修室は行徳中心部の行徳駅前公園のなかにあり、自治会や高齢者クラブなど、地域の拠点として活用されています。しかし、室内は畳敷きで痛みが目立ち、電気も暗く、トイレも男女共用の和式で、使い勝手がよくありません。もっと気持ちよく、使い勝手もよく改修できないかとの声が寄せられています。そこで、

- (1) 利用状況と老朽化の現状について
- (2) 当面の改修と今後の考え方について、伺います。

再質問

老朽化の現状は十分認識されているわけですが、築年数は25年？ということで、まだ改修すれば使える施設です。湯沸かし室も流し台も古く、夏場はゴキブリが湯沸かし室だけでなく他の部屋にも侵入している状況です。ぜひ、スズメの涙でちょっと直す程度ではなく、この辺で全体の改修を検討していただけないでしょうか。行徳支所の予算では限界があるということなのか。であれば、本来の所管で検討できないのでしょうか。